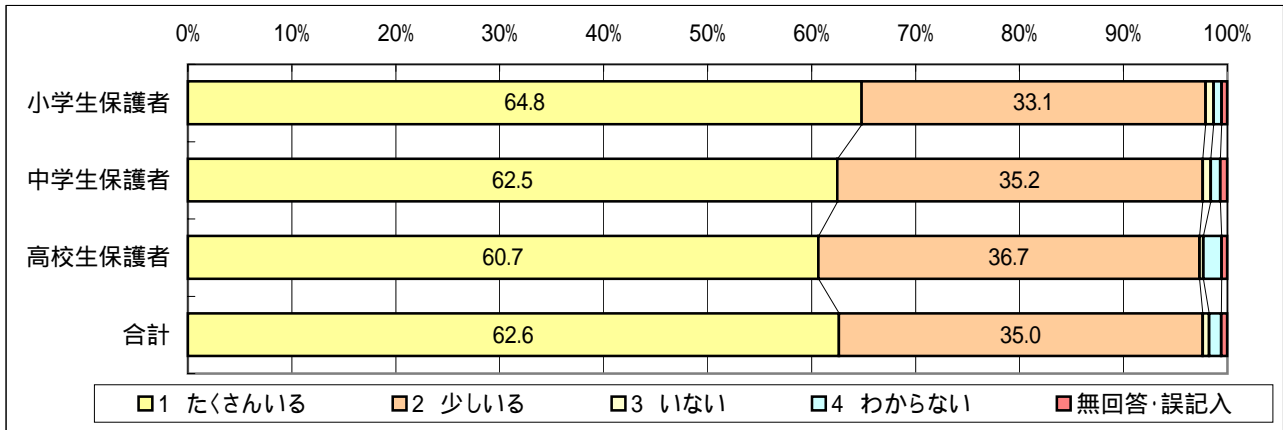


人間関係

1.(1) 友だちの有無 【保護者...問19】

子どもさんには友だちがいますか。次の中からあてはまるものを一つ選んで番号を教えてください。

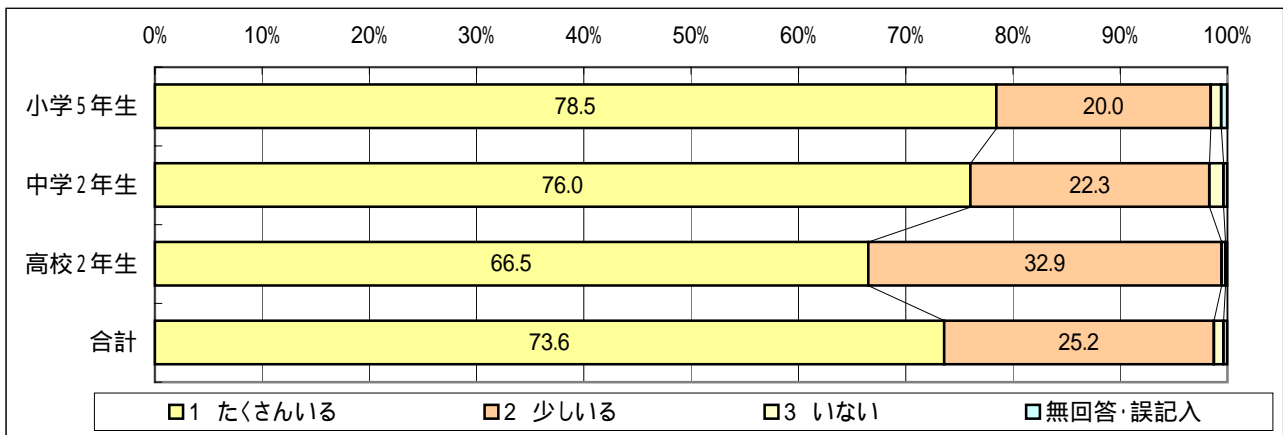
- 1 たくさんいる 2 少しいる 3 いない 4 わからない



1.(2) 友だちの有無 【小学5年生...問20】【中学2年生...問20】【高校2年生...問20】

あなたは友だちがいますか。次の中からあてはまるものを一つ選んで番号を教えてください。

- 1 たくさんいる 2 少しいる 3 いない



友だちが「いる」(たくさんいる+少しいる)と回答した者は、小学校5年生で98.5%，中学校2年生で98.3%，高校2年生で99.4%である。

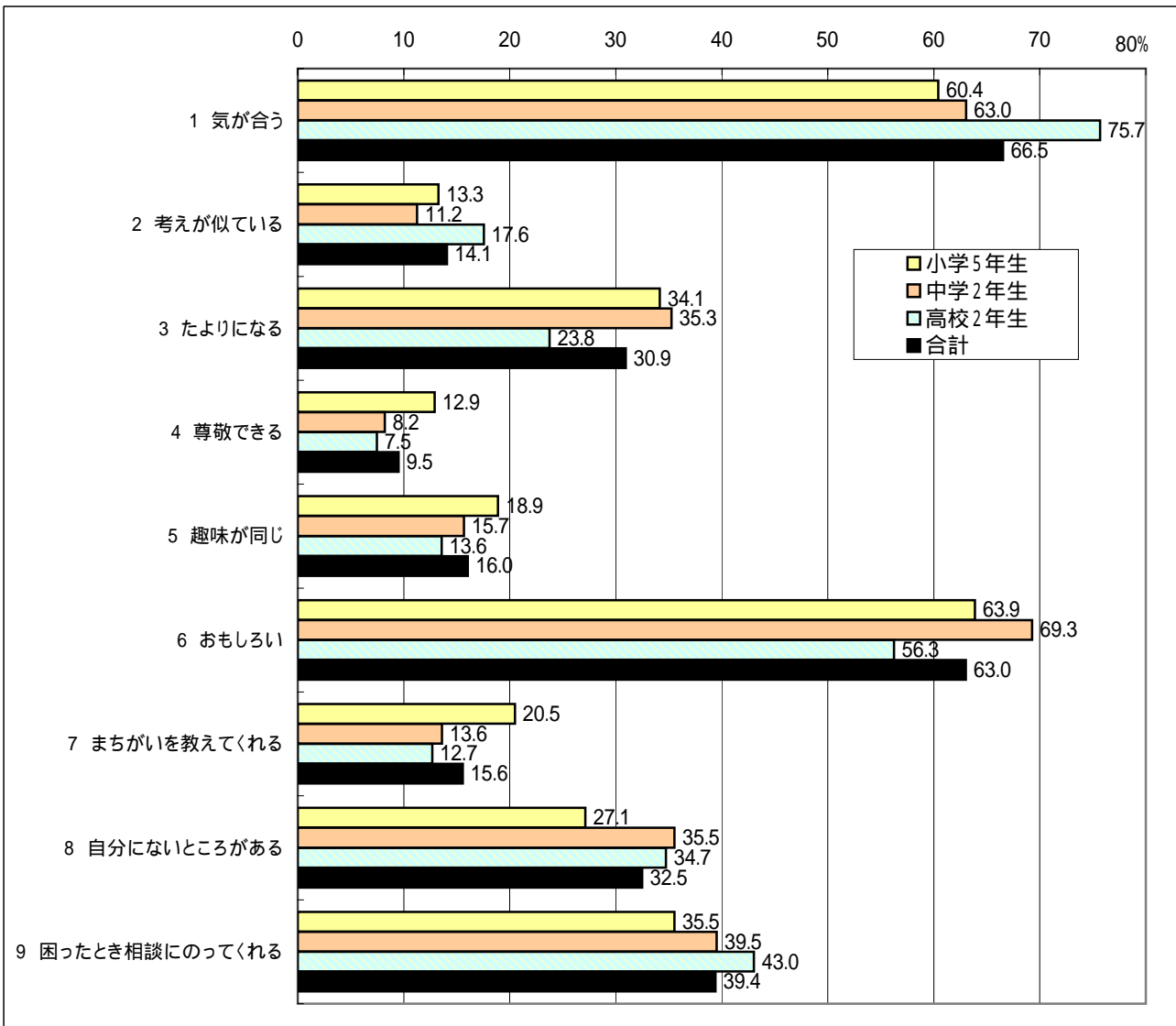
友だちの有無については児童生徒，保護者ともほぼ同じ傾向で大きな認識のずれはない。保護者も合計97.6%は「たくさんいる」+「少しいる」と回答しており，児童生徒の状況をほぼ把握していると思われる。

2. 友だちはどんな人

【小学5年生...問21】【中学2年生...問21】【高校2年生...問21】

問20で(1)または(2)と答えた人に聞きます。友だちはどのような人ですか。次の中から三つまで選んでつけてください。

- | | | | |
|---------------|------------------|------------------|---------|
| 1 気が合う | 2 考えが似ている | 3 たよりになる | 4 尊敬できる |
| 5 趣味が同じ | 6 おもしろい | 7 自分のまちがいを教えてくれる | |
| 8 自分にないところがある | 9 困ったとき相談にのってくれる | | |



多い方から「気があう」(66.5%)、「おもしろい」(63.0%)、「困ったとき相談にのってくれる」(39.4%)、「自分にないところがある」(32.5%)、「たよりになる」(30.9%)の順である。

「趣味が同じ」も同様であるが、「自分のまちがいを教えてくれる」は小・中・高と年齢が上がるにしたがって選択する割合が下がっている(小学5年生20.5%、中学2年生13.6%、高校2年生12.7%)。「自分のまちがいを教えてくれる」の校種における選択順位も6位(小学5年生)、7位(中学2年生)、8位(高校2年生)と下降している。

「考えが似ている」は小中高共に1割程度(14.1%)が選択し、校種における選択順位は8位であるが、高校2年生では2割程度(17.6%)が選択し、校種における選択順位は6位となっている。「尊敬できる」は全校種で選択順位が最下位で、小学5年生では1割程度(12.9%)、中学2年生・高校2年生共に1割以下(中学2年生8.2%、高校2年生7.5%)の選択となっている。

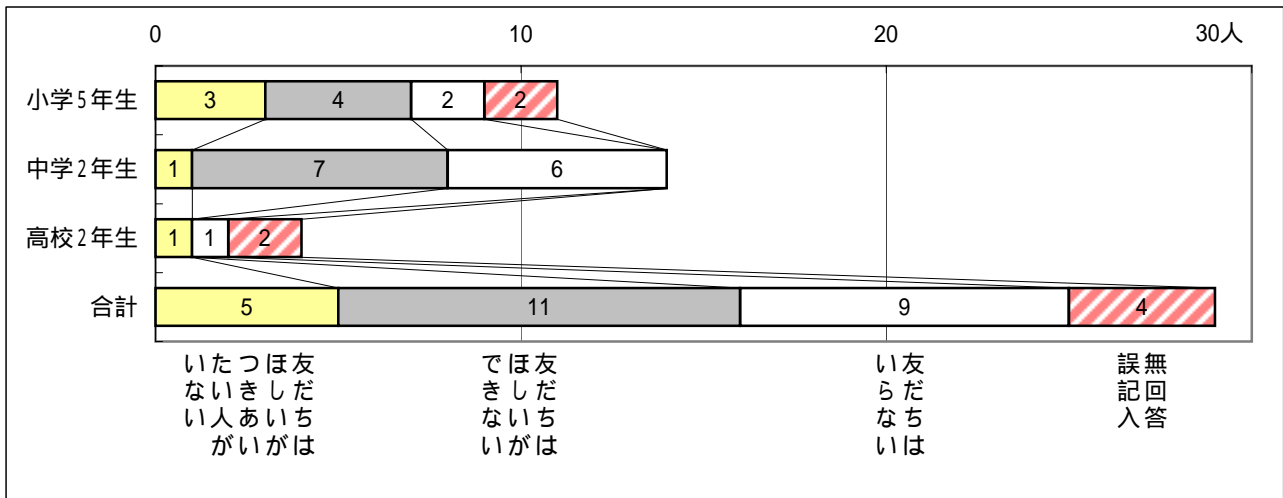
3. 友だちがいない理由 【小学5年生...問22】【中学2年生...問22】【高校2年生...問22】

問20で(3)と答えた人に聞きます。次の中からあてはまるものを一つ選んで番号を教えてください。

- 1 友だちはほしいが、つきあいたい人がまわりにいない 2 友だちはほしいが、できない
3 友だちはいない

	1 友だちはほしいが、つきあいたい人がいない	2 友だちはほしいが、できない	3 友だちはいない	無回答 誤記入	合計
小学5年生	27.3(3)	36.4(4)	18.2(2)	18.2(2)	100.0(11)
中学2年生	7.1(1)	50.0(7)	42.9(6)	0.0(0)	100.0(14)
高校2年生	25.0(1)	0.0(0)	25.0(1)	50.0(2)	100.0(4)
合計	17.2(5)	37.9(11)	31.0(9)	13.8(4)	100.0(29)

()内の数字は実数。



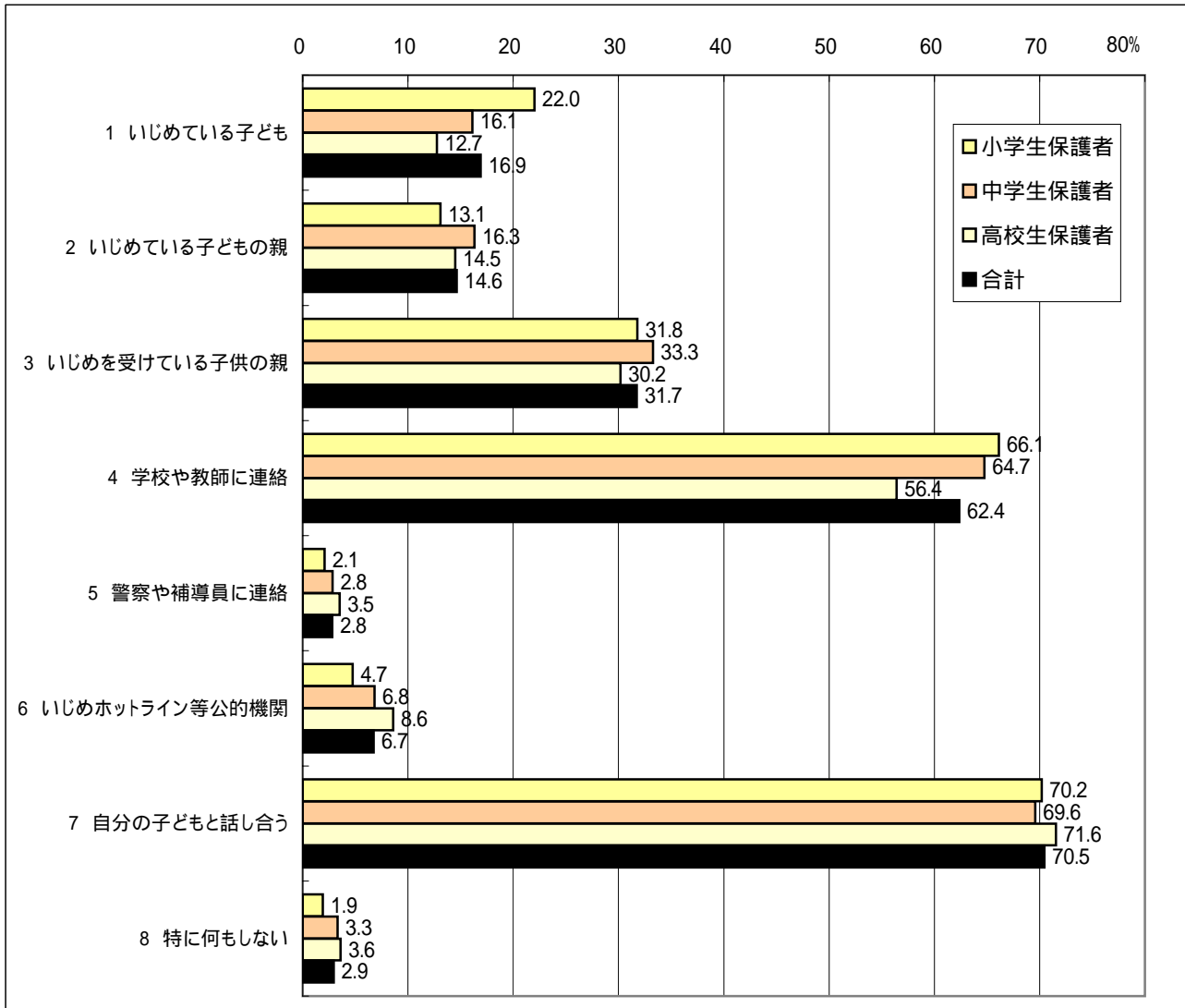
多いほうから「友だちはほしいができない」(37.9%)、「友だちはいない」(31.0%)、「友だちはほしいが、つきあいたい人がまわりにいない」(17.2%)の順である。

本設問のデータ数は少ない。回答数は、小学5年生11人、中学2年生14人、高校2年生4人の合計29人である。小学5年生、中学2年生では、「友だちはほしいが、できない」を選択した者が最も多い。ただし、高校2年生は0である。「友だちはいない」では、小学5年生が2名、中学2年生が6名、高校2年生が1名選択している。

4. いじめに対する対応 【保護者...問16】

もしも、子どもさんの友だちがいじめを受けているのを知ったら、あなたはどのように思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでをつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 いじめている子どもに注意する | 2 いじめている子どもの親に連絡する |
| 3 いじめを受けている子どもの親に連絡する | 4 学校や教師に連絡する |
| 5 警察や補導員に連絡する | 6 いじめホットライン等の公的機関に相談する |
| 7 自分の子どもと対応を話し合う | 8 特に何もしない |



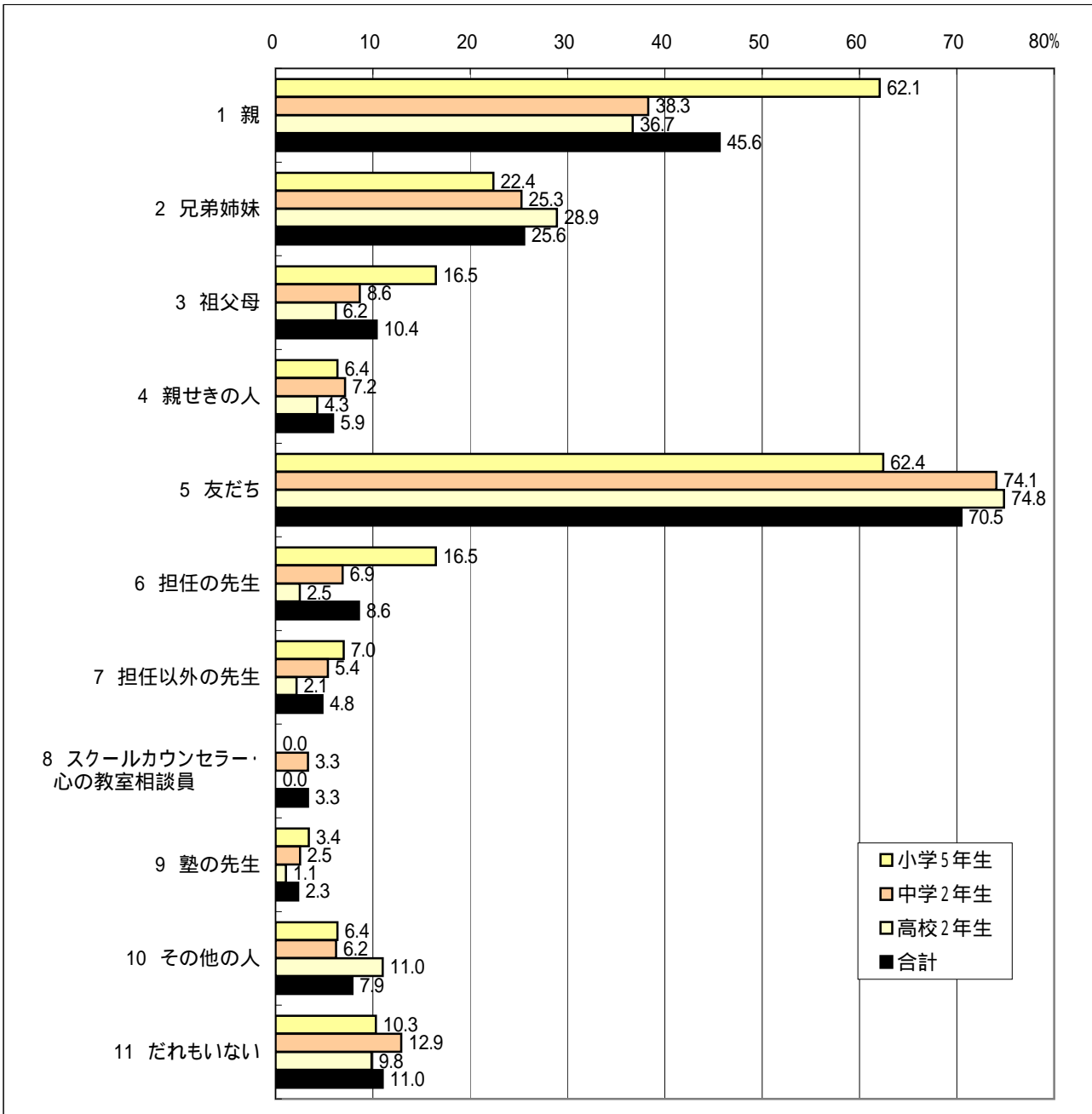
小中高の保護者間に大きな差はなく、最も多いのは「自分の子どもと対応を話し合う」(70.5%)、2番目が「学校や教師に連絡する」(62.4%)、3番目が「いじめを受けている子どもの親に連絡する」(31.7%)の順である。

「学校や教師に連絡する」「いじめている子どもに注意する」と回答した保護者は、子どもの学年が上がるにつれてやや減少している。

5. 何でも話せる人 【小学5年生...問26】 【中学2年生...問27】 【高校2年生...問30】

あなたが、心から話せるのはだれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで をつけてください。

- 1 親 2 兄弟姉妹 3 祖父母 4 親せきの人 5 友だち 6 担任の先生
 7 担任以外の学校の先生 8 スクールカウンセラー，心の教室相談員（中学2年生のみ）
 9 塾の先生 10 その他の人 11 だれもない



小中高とも「友だち」(小学5年生62.4%，中学2年生74.1%，高校2年生74.8%)，「親」(小学5年生62.1%，中学2年生38.3%，高校2年生36.7%)，「兄弟姉妹」(小学5年生22.4%，中学2年生25.3%，高校2年生28.9%)の順は変わらない。

「友だち」は群を抜いて多く学年が上がるにつれて増加している。「親」(各%は前掲)・「先生」(小学5年生23.5%，中学2年生12.3%，高校2年生4.6%)は学年が上がるにつれて減少している。

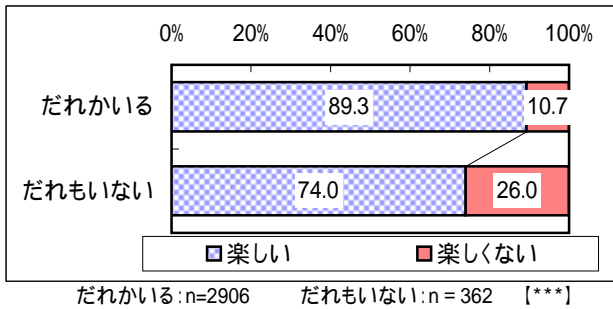
家族(「親」，「兄弟姉妹」，「祖父母」のいずれか)を回答した者は55.8%である。

「だれもない」が約1割である。

「何でも話せる人」と「家庭の楽しさ」(家庭生活)・「学校の楽しさ」(学校生活)との関係

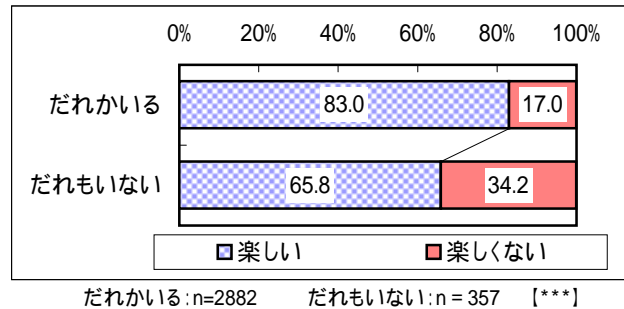
「家庭の楽しさ」(家庭生活)との関係

「何でも話せる人」は、「だれかいる」群と「だれもない」群に分けた。「家庭の楽しさ」は、「楽しい」(楽しい+だいたい楽しい)群と「楽しくない」(あまり楽しくない+楽しくない)群の二つに分けた。



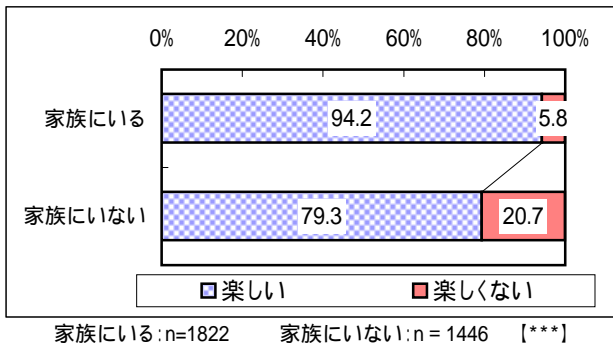
「学校の楽しさ」(学校生活)との関係

「何でも話せる人」は、「だれかいる」群と「だれもない」群に分けた。「学校の楽しさ」は、「楽しい」(楽しい+だいたい楽しい)群と「楽しくない」(あまり楽しくない+楽しくない)群の二つに分けた。



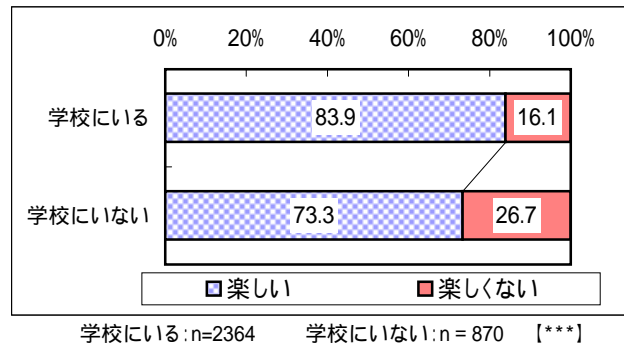
「何でも話せる人」が「家族にいる」場合の「家庭の楽しさ」との関係

「何でも話せる人」が「だれかいる」を、「家族にいる」(親+兄弟姉妹+祖父母)群と「家族にいない」群に分けた。「家庭の楽しさ」は、「楽しい」(楽しい+だいたい楽しい)群と「楽しくない」(あまり楽しくない+楽しくない)群の二つに分けた。



「何でも話せる人」が「学校にいる」場合の「学校の楽しさ」との関係

「何でも話せる人」が「だれかいる」を、「学校にいる」(友だち+担任の先生+担任以外の学校の先生)群と「学校にいない」群に分けた。「学校の楽しさ」は、「楽しい」(楽しい+だいたい楽しい)群と「楽しくない」(あまり楽しくない+楽しくない)群の二つに分けた。



「何でも話せる人」が「だれもない」と答えた者は、「家庭の楽しさ」を肯定する割合で、「だれかいる」と答えた者より15.3ポイント低く、「学校の楽しさ」を肯定する割合で、17.2ポイント低い。

「何でも話せる人」が「家族」(「親」「兄弟姉妹」「祖父母」)に「いる」と答えた者は、「家庭の楽しさ」を肯定する割合で、「家族にいない」と答えた者よりも14.9ポイント高い。また、「友だち」「担任の先生」「担任以外の学校の先生」に「いる」と答えた者は、「学校の楽しさ」を肯定する割合で、10.6ポイント高い。

「何でも話せる人」がいることで、家庭や学校という日常の生活の場を楽しく感じている者が多いことがわかる。